

実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

管理機関名 新潟県教育委員会

代表者名 佐野 哲郎

1 管理機関

①管理機関（市区町村・都道府県）

| | |
|-------|--------|
| ふりがな | いといがわし |
| 管理機関名 | 糸魚川市 |
| 代表者職名 | 市長 |
| 代表者氏名 | 米田 徹 |

②管理機関（産業界）※2団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

| | |
|-------|-------------------|
| ふりがな | かぶしきかいしゃのうすいしょうてん |
| 管理機関名 | 株式会社能水商店 |
| 代表者職名 | 代表取締役 |
| 代表者氏名 | 松本 将史 |

③管理機関（学校設置者）

| | |
|-------|------------------|
| ふりがな | にいがたけんきょういくいいんかい |
| 管理機関名 | 新潟県教育委員会 |
| 代表者職名 | 教育長 |
| 代表者氏名 | 佐野 哲郎 |

2 指定校名

学校名 新潟県立海洋高等学校

学校長名 増田 てつ志

3 事業名

未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築

4 事業概要

水産業や海洋関連産業、流通業、観光業、広告代理業、金融業に関わる企業等と連携し、未来を担う水産・海洋プロフェッショナルの育成に必要なカリキュラム開発を行う。

本校は、平成27年からつづく「糸魚川市水産資源活用産学官連携事業」において、管理機関である株式会社能水商店と糸魚川市と協働して、主として水産加工に関わる領域の実習内容の充実を図ってきた。本事業では、この連携を基盤に、他の分野に関わる企業等と広く連携し、地域や関連産業の課題を生きた教材とする教育を展開する。また、

このプロセスの中で、より多くの場面で ICT の活用に取り組み、DX（デジタルトランスフォーメーション）に対応できる人材育成も図っていく。

開発するカリキュラムでは、学習の副産物として地域に残る商品やサービスがつけられる。また、持続可能な社会づくりの視点も取り入れ、専門高校が将来に渡り地域の活況創出の核となり続けるという新しい価値の創出を目標とする。

新しい価値を創造するため、マイスター・ハイスクール CEO や産業実務家教員が生徒の教育活動を支援する。マイスター・ハイスクール CEO である松本将史氏は、現在、株式会社能水商店代表取締役をつとめ、週 3 日間事業に当たる。CEO は、株式会社能水商店における企業実習（商品開発・マーケティング・販売）の運営や、企業、行政・研究機関などの外部機関との連携コーディネートなどの役割を担う。松本氏は、かつて海洋高校教諭であり、地域産業の実情ばかりではなく、教育文化にも精通し、本事業の立案や企業実習ならびに外部機関との調整を行う。産業実務家教員として、清水靖博氏と石田寿文氏の 2 名が担う。清水氏は株式会社能生町観光物産センター取締役本部長であり、地域産業界の実情にも明るく、食品科学コース 3 学年の水産科目「総合実習」のなかで、年間 60 時間程度の道の駅でのイベントの企画運営に関する講義と実習指導を行う。石田氏は、株式会社能水商店開発営業部長として商品開発の経験を有し、また海洋高校の卒業生であることから、当該校の実情にも明るく、食品科学コース 3 学年の水産科目「課題研究」のなかで、年間 60 時間程度の商品開発実習指導を行う。

本年度は、マイスター・ハイスクール CEO や産業実務家教員が生徒の教育活動を支援することを通じて、地域の課題解決に向けた具体的な実践を行い、地方創生を牽引できる水産・海洋プロフェッショナル人材の育成に、引き続き取り組む。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- ア 学校設定教科・科目を開設している
 イ 教育課程の特例の活用している

6 事業の実施期間

契約日～令和 6 年 3 月 31 日

7 令和 5 年度の実施計画（ ）はコース及び学年

(1) 生徒の学習活動

① ICT 活用

- チョウザメ養殖における雌雄判別 PCR 検査及び個体識別飼育（資源育成）
- HACCP 実習における衛生管理記録のペーパーレス化（食品科学）
- 乗船実習中の普通教科オンライン授業（海洋技術）
- 水中ドローンによる測量（海洋創造）等

② 地域理解と 6 次産業化

- 学校設定科目「地域探究」における学習（自然・文化・産業等の市勢を俯瞰）（1 年）
- 学校設定科目「地域探究」における糸魚川ジオパーク検定全員合格（1 年）
- チョウザメ・イトウ等の養殖魚の加工・販売（資源育成）
- 閉鎖循環式の水産養殖と水耕栽培「アクアポニックス」試験プラント運用（資源育成）
- 持続可能な鮭増殖事業に関する研究（資源育成）

- にいがた鮭の魚醬「最後の一滴」関連商品開発（食品科学）
- マリンスポーツイベントの企画運営準備（海洋創造）
- ③ 新潟海洋高校アンテナショップ「能水商店」における OMO (Online Marge with Offline) の実践
 - 実店舗運営と EC サイト運営の連動、店舗アプリや SNS を利用した宣伝誘客（食品科学）
 - 実習漁獲物のオンライン販売（海洋技術）
 - アクアポニックス水槽展示と野菜販売（資源育成）
 - 各種物販・飲食イベントの実施（食品科学・資源育成）

(2) 産業実務家教員による講義・実習

- 清水 靖博（株式会社能生町観光物産センター・取締役本部長）
食品科学コース 3 学年の科目「総合実習」のなかで、年間 60 時間程度の道の駅でのイベント・企画運営に関する講義及び実習指導。
- 石田 寿文（株式会社能水商店・開発営業部長）
食品科学コース 3 学年の科目「課題研究」のなかで、年間 60 時間程度の商品開発実習指導。

(3) 連携（直接的・継続的に指導）

| 連携先 | 授業・実習内容 |
|----------------|--|
| ムービークリエイト レゴリス | 実習漁獲物のオンライン販売、能水商店における OMO |
| (公財) マリンスポーツ財団 | マリンスポーツイベント企画運営 |
| (有) SK フロンティア | チョウザメ・イトウの養殖 |
| 糸魚川信用組合 | 学校設定科目「地域探究」における地域理解学習及びビジネスプランコンテスト支援 |
| (株) 能水商店 | 商品開発、能水商店における OMO |

<添付資料>

- ・令和 5 年度教育課程表

8 事業実施体制

意思決定機関の体制（マイスター・ハイスクール運営委員会）

| 氏名 | 所属・職 |
|--------|----------------------------------|
| 増田 てつ志 | 新潟県立海洋高等学校・校長 |
| 米田 徹 | 糸魚川市・市長 |
| 松本 将史 | 株式会社能水商店・代表取締役（マイスター・ハイスクール CEO） |
| 池亀 郁雄 | 株式会社能生町観光物産センター・代表取締役社長 |
| 佐野 哲郎 | 新潟県教育委員会・教育長 |
| 大貫 慶一 | 能生商工会・会長 |
| 渡邊 武 | 糸魚川信用組合営業推進室・室長 |
| 山田 智之 | 上越教育大学大学院 学校教育研究科・教授 |

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

| 氏名 | 所属・職 |
|--------|----------------------------------|
| 松本 将史 | 株式会社能水商店・代表取締役（マイスター・ハイスクール CEO） |
| 増田 てつ志 | 新潟県立海洋高等学校・校長 |
| 嶋田 猛 | 糸魚川市教育委員会こども課・課長 |
| 清水 靖博 | 株式会社能生町観光物産センター・取締役本部長（産業実務家教員） |
| 渋谷 一正 | 有限会社SKフロンティア・代表取締役 |
| 田村 正人 | 公益財団法人マリンスポーツ財団・事業部 事業課長 |
| 齋藤 浩 | 能生海岸管理組合・組合長 |
| 磯谷 光一 | 上越漁業協同組合・組合長 |
| 齋藤 雄司 | 能生内水面漁業協同組合・組合長 |
| 小田嶋 大 | 糸魚川信用組合能生支店・店長 |

9 課題項目別実施期間

別添

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

- (○) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
 () 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・ (無)

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者・免税事業者 (□で囲むこと)